

自民党大会

勝敗見えぬ国会戦術

自民党は23日の党大会で、菅直人首相を年内に衆院解散に追い込む方針を確認した。通常国会冒頭から①民主党の衆院選マニフェスト(政権公約)修正②政治とカネの問題③与野野際経済財政担当相起用の「3点セット」で追及。谷垣楨一総裁は政権の求心力を低下させる一

方、野党が多数を占める参院で、2011年度予算関連法案を切り札に衆院解散を狙う。しかし不発に終われば逆に自民党内から谷垣氏の責任論が浮上しかねない。双方にとって「剣が峰」国会が始まる。(1面参照)

今後の主な国会日程	
1月24日	▶第177通常国会召集、政府4演説
26~28日	▶衆参両院で各党代表質問
31日?	▶2011年度予算案の審議入り
1月中?	▶小沢元代表の強制起訴
2月上旬?	▶予算関連法案の審議入り
2月下旬~3月上旬?	▶予算案衆院通過
3月下旬?	▶予算案、予算関連法案の審議ヤマ

「何としても政権を解散に追い込む。先頭に立つて戦い抜く」。谷垣氏は党大会でこう宣言した。国会審議では、首相が表明した政権公約修正を「有権者への裏切り」と糾弾。首相から消費税率引き上げで踏み込んだ発言を引き出し、反対の社民党と政権の距離を広げる戦術を練る。

首相が呼び掛ける税と社会保障の一体改革に向けた超党派協議に関しては、政府案の提示が前提として拒否。政府案が示されれば、政権公約との矛盾を厳しく指摘する。

「政治とカネ」をめぐるのは、小沢一郎民主党元代表の証人喚問要求に加え、旧自由党が民主党と合併する直前の02年、政党助成金から組織活

公約修正を追及、解散狙う



自民党の定期党大会で氣勢を上げる谷垣総裁(中央)ら。23日午後、東京都内のホテル

動費名目で15億円超の副長官に渡った形になった資金が旧自由党の幹事長「ている問題を取り上げを務めた藤井裕久官房

世論離反なら谷垣氏責任論も

自民党比例代表で議席を得ながら、政権入りした与謝野氏に対し「道義的に許されないと批判。議員辞職要求とともに首相の任命責任を問う。与謝野氏のこれまでの発言と政権公約の不整合も際立たせたいと考えた。

3点を中心に首相にダメージを与えた上で、3月末の予算関連法案採決をめぐる攻防に突入する段取りだ。関連法案は予算執行に不可欠だが、参院で否決されても自然成立する予算案と違い、参院否決の場合、衆院の3分の2以上で再可決する必要のあるもの、それには社民党の協力が欠かせない。

自民党は参院で公明党などの野党共闘で、関連法案を否決できる態勢を固める方針。3点セット

トの攻防に絡め、菅首相への問責決議も視野に入れる。首相を立ち往生させ「衆院解散を確約すれば予算関連法案の成立に協力する」として、菅首相のまま「話し合い解散」に持ち込む作戦だ。

しかし、関連法案が成立せず11年度予算が宙に浮けば、世論の批判は野党に向かう恐れがある。解散に追い込まなければ谷垣氏への批判は避けられない。菅内閣の支持率が回復基調になれば、公明党が党の政策実現との引き換えで関連法案に賛成する展開もあり得る。

兵庫県から 組織強化へ決意

23日に開かれた自民党大会には、兵庫県から国会議員2人を含む25人が出席した。野党転落直後の昨年大会と比べて「雰囲気は格段にいい」と評価し、統一地方選に向けた組織強化への決意を口にした。

大会では、統一地方選候補者の兵庫代表として、五島壮典連幹事長が壇上であいさつ。終了後「反転攻勢できるいいムードだった。地方議員はやる気があふれていた」と話した。

谷公一衆院議員(比例近畿)は「民主党と違って(自民党の)団結は問

する保証はない。ある中堅議員は「これが谷垣総裁で臨む最後の党大会かもしれない」と漏らし

題ない。これからも緩まず危機感を持って前に進まなければ」とし、県連会長の西村康徳衆院議員(兵庫9区)も「いつ解散総選挙になっても対応できるよう、支部長選びを急ぎ、地方組織をより強くしたい」と述べた。(山崎史記子、高見雄樹)